

訃 報

日本微量元素学会・理事の岡田正先生(大阪大学名誉教授、大阪府立母子保健総合医療センター名誉総長、本学会第3代理事長、第2回学術大会会長)には病氣療養中のところ、平成19年8月19日午前2時54分、甲状腺癌のためご逝去されました。享年69歳でした。ここにお知らせ致しますとともに謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

先生は、昭和38年3月大阪大学医学部を卒業され、助手、講師を経て、昭和57年2月に小児外科教授に就任されました。平成14年3月に定年退官し、その後は大阪府立母子保健総合医療センター総長を務められました。

研究面では、外科代謝栄養学を強く推進され、わが国への中心静脈栄養法(高カロリー輸液法)の導入、静脈経腸栄養法を中心とした院内栄養治療システムの提唱、栄養アセスメントの確立、病態別栄養法の確立、在宅静脈栄養法の実用化など、わが国における静脈栄養法の発展に中心的役割を務められました。とくに、静脈栄養時の亜鉛欠乏症に関する報告は世界最初であり、これが外科領域における微量元素の生理学的重要性を提唱する契機となりました。

先生はわが日本微量元素学会の第3代理事長として、また第2回学術大会の会長として本学会の創設期を支え、今日まで本学会を牽引して来られました。また他に学会関係では、日本外科学会(理事)、日本小児外科学会(理事長、会長)、日本外科代謝栄養学会(理事長、会長)など、多くの学会に属し、それぞれの学会の役員として各学会の発展に貢献されました。

ここに、ご生前のご厚情に深く感謝すると共に、先生のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

なお、突然の悲報でしたので、会員の方々にも十分な情報が入らず、お悔やみを申し上げることが出来なかった方々も多いことと察します。そこで、機関誌18巻4号には親しい方々からの追悼文を募集し、掲載させていただく予定です。日本微量元素学会を代表してお知らせ申し上げます。

平成19年8月21日

日本微量元素学会
理事長 荒川 泰昭

**BIOMEDICAL
RESEARCH
ON
TRACE ELEMENTS**

Vol.18 No.3 2007



**Japan Society
for Biomedical Research
on Trace Elements**